

## OKAME STYLE



丘女会報  
「OKAME STYLE」  
第10号  
令和5年9月発行  
編集 丘女会広報部  
TEL : 092-561-0662

## 常に“挑戦”し続ける 初の女性実行委員長が同窓会総会を陣頭指揮

2024年同窓会総会実行委員長

むとう ゆりこ  
47回生 武藤百合子さん



### < Profile >

高47回生  
西南学院大学商学部経営学科卒業

1999年 株式会社BCC入社  
2020年 2020ミセス・アース・ジャパン  
福岡大会ファイナリスト  
2021年 2021ミセス・グローバル・アース  
アメジスト部門九州エリア大会  
長崎グランプリ、日本大会4位  
2022年 ミセス関西コレクション2022  
九州エリア大会ファイナリスト  
2022年 2022ミセス・グローバル・アース  
アメジスト部門福岡長崎大会  
福岡グランプリ、日本大会ファイ  
ナリスト  
2023年 ミセス関西コレクション2023九  
州エリア大会ビューティーキャン  
プサポーター

### ■ 現在のお仕事は？

大学卒業後、ずっとシステムエンジニアをしています。元々放送局の仕事をしたいので放送局関連の今の会社に入社し、社内で放送局のシステムを扱う唯一の今の部署に配属されました。一度他部署に異動になりましたが、放送局の仕事がしたいという想いが強くまた今の部署に戻してもらいました。

好奇心がとにかかく旺盛。  
そして負けず嫌い。  
自分に負けることが一番嫌

子供の頃から、水泳、拳法、テニス、ラクロス…とずっとスポーツをしています。30歳頃からはマラソンを始めました。初めてのフルマラソンでは、制限時間が来て目の前で門が閉まるのを想像して悔しくて泣きそうになりながら、時間内になんとか完走しました。以来、15回以上一度もリタイアなしで完走し続けています。2020年から3年間、友人に誘われたことがきっかけで「ミセスコンテスト」に出場することに。

最初は、グランプリを獲りたいという気持ちはなく、大会までの間に所作やマナーなど様々なレッスンが受けられる「ビューティーキャンプ」というものに興味があってエントリーしました。結

局、最初の年は何も賞を受賞することができませんでした。そこで負けず嫌いに火が付きまして。

### ■ 「グランプリを獲りにいく！」と、リベンジに挑戦

1日目、私はそれまで「笑顔がいいね」と言っていたことが多かったので、自己PRのアピールポイントにも「笑顔」と書いていましたが、ステージに立ったら全然笑えなくて。大会に出場したことで逆に笑顔に自信がなくなりました。それを克服するため、2年目からは笑顔のレッスンを受け始めました。コンテストではスピーチの時も、ウォーキングの時も、後ろで並んでいる間も、ずっと笑顔でいないといけません。

そして2年目、九州エリア大会で長崎グランプリ受賞、日本大会で4位に。翌年、福岡グランプリ→日本大会グランプリを目指してさらに挑戦。結果、日本大会グランプリは受賞できませんでしたが、2年目に獲れなかった福岡グランプリを受賞することができたので、コンテストへの出場は卒業し、今年は運営側としてビューティーキャンプのサポーターを務めています。

### “挑戦”のオピニオンリーダーとして 挑戦し続ける。

コンテストをきっかけに、  
女性初の総会実行委員長に



日本大会4位(2021年)

福岡グランプリ(2022年)

同期で実行委員長を決める集まりでなかなか実行委員長が決まらず、「コンテストで人前で話すのは慣れてるだろうし、女性の実行委員長って今までないよね〜？」といった話から、総会の実行委員長をお受けすることになりました。元々はリーダー等をするタイプではなく、コンテストに出ていなかったら委員長は絶対に引き受けていなかったと思いますが、コンテストで入賞した際のスピーチは「私は挑戦のオピニオンリーダーになります。これからの人生も人と人を繋ぎ、一緒に進む人生も挑戦し続けます。そして、見たことのない世界を手

に入れます」でした。それが今に繋がっているなどと思います。

### ■ 総会への想いを聞かせてください

コンテストでは「人と比べない、自分の良さを出せば良い」ということを常々言われました。今年の総会はとても素晴らしいので圧倒されました。来年は今年の良さを引き継ぎつつ、私たちはまた私たちの良さを出していけたらと思っています。幹事の47回生も楽しみ、参加して下さった皆さんも楽しかった、と思っていたら同窓会にしたいです。私は「挑戦」ともう一つ、人と人を繋ぐことが得意です。女性初の実行委員長としてまた新しい形を作り、これからの世代にも繋げていけたらと思っています。

### ■ 高校生へのメッセージ

「やらなくて後悔するより、やって後悔の方が良い」が私のモットーです。迷ったら、やってみの方が良いと思います。失敗してもその経験はきっと次に繋がるので、いろんなことに挑戦して、悔いのない人生を送ってください。

# 捨てられる血液で助かる命がある ～臍帯血移植を多くのひとにひろめたい～

▼九州さい帯血バンク



臨床検査技師

やまぐち さえき えつこ  
41 回生 山口(佐伯) 恵津子 さん

## ■ 現在のお仕事は？

日本赤十字社九州ブロック血液センターで公的さい帯血バンク(九州さい帯血バンク)に携わっています。臍帯血の検査、製品化、保管(液体窒素内)、受注発送、営業と多岐に渡る業務を行っています。

捨てられる血液で  
助かる命がある

## ■ 臍帯血(さいたいけつ)とは？

臍(へそ)の緒と胎盤に含まれる約60～100mLの血液のことで、造血幹細胞という血球のもとになる細胞が多数含まれています。赤ちゃんが生まれた後、胎盤と一緒に捨てられる血液です。あらかじめ契約した産科病院で、臍の緒から



### < Profile >

高41回生  
九州大学医療技術短期大学部衛生技術学科(現九州大学医学部保健学科) 卒業  
1993年 日本赤十字社福岡県赤十字血液センター検査課 入社  
2011年 日本赤十字社九州ブロック血液センター検査課 異動  
主にHLA検査※を担当  
2018年 同センター製剤三課(九州さい帯血バンク)へ異動  
2021年 放送大学教養学部 心理と教育コース 卒業

※HLA: ヒト白血球抗原のこと。白血球にも型があり人によって違います。

採取された臍帯血は、私達が製品化して、白血病などの血液疾患の患者さんに移植されます(臍帯血移植)。

## ■ 公的さい帯血バンクについて

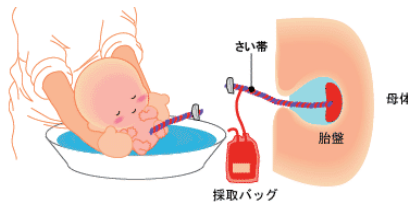
公的なさい帯血バンクは、無償で提供していただいた臍帯血を血液疾患の患者さんへの移植用として保管する機関で、全国に6か所あります(北海道・東京・大阪・愛知・兵庫・福岡)。九州さい帯血バンクが契約している病院は、福岡県11、熊本県1、沖縄県1の13施設です。

同級生との繋がりで  
自分のやっている事業の意義を  
痛感した

2023年度の同窓会懇親会で、同級生が臍帯血移植を受けて元気になったことを聞き、直ぐに連絡を取りました。同級生には移植経験者として取材協力してもらい、2023年6月19日、26日の西日本新聞朝刊に臍帯血移植の特集を掲載していただきました。他にも快く協力してもらっていて感謝しています。私がやっている事業で、患者さんの命を救うことができることを実感しています。臍帯血移植は、年間約1300件行われています。

## ■ これから協力したい人はどうしたら良いのか？

ホームページに公開している契約産科病院で出産してもらわなければなりません。皆さんに知ってもらうことから始めて、私も協力したいという声が大きくなれば、バンクの規模を拡大していくこともできます。



臍帯血を採取する様子

採取時の痛みは全くなく、  
捨てられる血液で助かる命がある  
ということを知りたい  
多くの人に知ってほしい

## ■ 高校時代は？

硬式テニス部でした。土曜日の部活帰り、ランチに大橋駅近くにあったフルーツ屋でドリアとフルーツパフェを食べるのがとても楽しみでした。皆でワイワイやるのが好きで、高校生活を楽しんでいました。体育祭では創作ダンス、文化祭ではクラスでとても凝った縁日を作りました。

## ■ 臨床検査技師になったきっかけは？

手に職を付けたいと思ったのと、医療系に興味があったからです。病院ではなく、赤十字に入ったのは実験が大好きで研究的な事がやりたかったから。学校推薦で日赤のHLA検査部署に採用されました。好みと合いましたね。

日赤は福利厚生がしっかりしていて、子ども4人を育てながら勤め続けます。今は、男性職員もほとんどが育児休業を取っています。三男の時は育児休業を3年取って生後3か月で主人の転勤で、新潟県上越市に4年間住みました。長男が小3、次男が小1で、育児休業中にリフレッシュできて、生涯の友達もできました。

## ■ 今の夢、やりたいことは？

将来は、カウンセリングで人が元気になるお手伝いをしたい。働きながら放送大学で、5年掛けて心理と教育の学位を取りました。きっかけは、職場の人間関係です。理不尽なことを言う上司や、それにくじける人を見て何とかならないか、なぜそういうことをするのか知りたくなりました。心理学から勉強して、学会認定である認定心理士と、民間の公認カウンセラーの許可を取得しました。これから今までの勉強を活かしたいと思っています。

## ■ 高校生へのメッセージ

人との繋がりを大事にして欲しい。高校時代の友達とは今でも繋がっているし、一生の友達を見つけると良いと思います。社会に出るといろんな人がいます。高校時代にいろんな人と関わりいろんなことを経験し、社会で対応できる力を養って欲しい。体育祭・文化祭などの行事にも積極的に関わって欲しいと思います。

## 「紹介してほしい人」を募集します

OKAME STYLE は年2回の発行を予定しています。今後の紙面に取り上げてほしい卒業生をご紹介ください。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵な人がいます」「この人の話が聞きたい」。多数のご推薦をお待ちしています。

広報委員長 小川訓名(高36回生)

連絡先: 同窓会事務局 oka.dousoukai@gmail.com

制作ボランティアスタッフも募集しています。興味のある方は広報スタッフもしくは事務局までご連絡ください。



丘女会のシンボルマーク

おかめ桜の花言葉は「豊かな教養、善良な教育、しとやか、理知に富んだ教育」

## 人生の最期は 本人も家族も穏やかに過ごしてほしい すべてはみんなの笑顔のための洞察力

有限会社ケースワーク 主任介護支援専門員

おがわ もりぞの みちな

### 36回生 小川(森園)訓名さん

#### ■現在のお仕事は？

2000年に始まった介護保険法で要介護状態になっても自立した日常生活ができるよう介護計画を立て実施する、いわば作曲家兼指揮者のような仕事です。利用者の立場にたって、医療、福祉、行政やいろんな所との連携取りながら、サービスが受けられるように調整するケアマネジメントです。介護支援専門員は医療、福祉系の資格で5年以上の実務経験がある人が介護支援専門員実務研修受講試験を受け合格後、規定日数の実務研修修了後登録される公的資格。更に5年の介護支援専門員業務を行った後、行政の推薦で一定の研修を受けると主任介護支援専門員としてスーパービジョン業務を行うこととなります。

#### ■なぜ介護の世界に？

高校時代は吹奏楽一筋で勉強もあまりしておらず、結果大学に落ちてそのまま親の転勤で鹿児島に転居、自宅で浪人生活を送ることになりました。共働きの両親に代わりに家事、祖父の介護をしながら、今思えばヤングケアラーの走りだったのでしょうか。引きこもりのような生活が4年間続きました。医療系の進学

を希望していましたが、歳月を重ねすぎてしまい栄養士の道を考え、県立の短期大学の家政科食物栄養に進学。卒業後は全国の病院給食ノウハウがある会社に栄養士として入社し、給食委託でいろんな病院を回り、その間管理栄養士の国家資格を取りました。1991年の異動先の病院では、脳血管障害者の回復期で管理栄養士として栄養指導やリハビリ食に携わりましたが、患者さんの「いくらリハビリしても家には帰れない。家族はみんな働いているし」という愚痴を聞く毎日でした。そんなとき、日本に介護保険法ができ、在宅に戻っても介護を受けられる、自宅で最期を迎えることができるようになることを知りました。法律施行1年前に今の会社を有志で立ち上げましたが、当時の介護保険法は一般法人での管理栄養士は全く活躍の場所はなく、仕方なく介護支援専門員の資格をとることになったのが始まりでした。

*ひきこもりの4年間の心の辛さや  
長いトンネルにいた感覚が  
今でも残っていて、  
いわゆる弱者と言われる人たちの  
気持ちがよくわかる*

人は誰でも平等で一生懸命に生きる権利があります。障害があるからと諦めている人も、何かちょっとしたヒントで救われる。辛い介護をしている家族も目線をかえることで、一人じゃないと思える、頑張ることができる、そんな計画(目標)を考えて関係事業所と支援しています。また最初、管理栄養士は関係ないと思っていたことが、介護の世界では栄養がとても大切であることわかり、食事の楽しみ方を介護に取り入れています。



#### < Profile >

高36回生  
鹿児島県立短期大学家政科食物栄養専攻卒業

1990年 日清医療食品株式会社入社  
篠栗病院、泰平病院、誠愛リハビリテーション病院  
管理栄養士として勤務

1999年 有限会社ケースワーク入社  
2000年 在宅介護支援、訪問介護、訪問入浴、福祉用具貸与、訪問看護事業所、通所介護短期入所生活介護事業所立ち上げ  
介護支援専門員として勤務

2006年 主任介護支援専門員として勤務

#### ■これからやりたいことは？

管理栄養士のノウハウを持って介護現場でも食支援が誰でもできるように介護関係者に広めていきたいこと、自分たちが高齢になったとき、制度を利用しながら自分たちで助け合いながら生活できる若い人も住めるシェアハウスを作りたいです。

#### ■高校生へのメッセージ

歳を重ねると対人関係に悩むことが多くなります。人を好きになる、嫌いになるこの感覚、感情経験は大切です。いい子ぶる必要はありません。自分の豊かな感性は若いときしか磨けません。その上で人を好きになること。昔家政科で「育児」という科目がありました。男性の小児科の先生の講義で「いい育児をするためには最低3回は恋愛をすること。1回は思いっきりふられる、1回は思いっきりふる、そして両想いの恋愛をすること。」と言われました。人の痛みを分かる人間になるためには、両方味合わないわかりません。世の中は人とのつながり、人なしでは生きていけません。世知辛い世の中ですが、きっと若いうちにいろんな感情を経験した方が楽しい人生を送ることができると思います。



デイサービスの誕生日会用ケーキ(手作り)

## ご縁や偶然がキャリアをつくる 多様な生き方、働き方で自分らしく 人生のデザインを支援したい

キャリア & ライフデザイン 代表  
キャリアコンサルタント

おおた かむむら ゆみこ

### 32 回生 太田(川村)由美子 さん

#### ■ 現在のお仕事は？

28年間務めた会社員時代の様々な経験も活かして、人と組織の成長を支援することをライフワークにしています。価値観や働き方は大きく変化していますが、誰もが自分らしい人生を送れるように、目の前の人の役にたちたいと思っています。企業で講演や研修をしたり、自治体が主催するワークショップや女性リーダー育成のコーチ、地域の公民館や中学校にも行きます。市民グループの仲間と子どもから高齢者まで楽しく学べるツールとして創った「男女共同参画みんなでカルタ」を使ったイベントをやったり、大学では非常勤講師としてキャリア授業を担当しています。

**人生100年、自分らしいキャリアを  
デザインしてだれもが  
人生の主人公になってほしい  
「偶然の出会い」やご縁、  
「弱い紐帯(ちゅうたい)」が大切**

高校時代は音楽部(現吹奏楽部)の打楽器担当で、1年2年と全国大会に出場できたのは先輩たちのおかげです。部活や、クラスでオリジナル劇をやった予餞会、ダンス委員で優勝した運動会、印象に残っていることは、皆で夢中になってやったことです。大学は広島大学の総合科学部総合科学科に進学。文理半々の定員で、ユニークな人が集まっていました。就職は、活字に関わりたくて、男女雇用機会均等法の施行前でしたが、待遇に全く男女の差がなかった福武書店に。中学生向け通信教育教材の付録冊子の担



オカリナ教室のメンバーとデイサービスへ

当で毎月、九州・沖縄の中学校に取材に行き記事を書いていました。

#### ■ 仕事と子育て、周囲の助けで単身赴任も

同窓生で1つ上の夫と30歳で結婚。長男を出産した直後、夫が米国転勤になって「ちょうど良かった」とばかりに育休の間はシカゴで地元のカレッジに通って、今の仕事につながる学びに出会いました。米国の暮らしが楽しくて、2年の育休の期限を前に復帰を迷っていたら、上司から国際電話で「席があるから帰ってこい」と言われて復帰を決心。辞めるのはいつでもできると息子と2人で帰国して、フルタイムのグループリーダーとして復職しました。その後、第2子では9ヶ月の育休で時短復帰しました。

子どもが、剣道を始めてからは地域の方やママ友、いろんな方にも助けてもらいました。夫が単身赴任中に、私にも東京転勤の話があり悩んだけれど子どもたちに「大丈夫だから行ってきたら」と言われて1年間単身赴任。土日は毎週福岡に帰省しましたが、ここまで両立できたのは子どもたちの頑張りとお家の両親、義理の母のおかげです。セカンドステージに向かうため、49歳で退職しました。

**たくさんの子どものための  
仕事から、顔が見える、  
リアクションが見える仕事に**

#### ■ ご縁が繋がったセカンドステージ

人生のセカンドステージに入って、人と関わること、音楽、自然に触れる、健康、お金の勉強をしたいと考えてキャリアコンサルタント、剣道、オカリナ教室を始めました。キャリアの仕事では前職での知り合いや同窓生など、つながりがあった人たちが声をかけてくれて今があります。剣道は、同窓生でもある息子と娘がお世話になった道場の先生とのご縁を大切にしたいと思ったから。オカリナ教室では細やかですが地域へのご恩返しと思って毎年ボランティアや演奏会を企画しています。



#### < Profile >

高32回生  
広島大学総合科学部総合科学科  
社会文化コース卒業

1983年 (株)福武書店入社  
2001年 ベネッセ介護センター福岡・広島担当  
2005年 ベネッセコーポレーション九州事業所事業所長  
2010年 東京支社 総務部事業推進課  
2011年 (株)ベネッセコーポレーション退職  
2013年～ライリッシュオカリナ認定講師  
オカリナ教室主催  
2014年～男女共同参画推進サポータークラブ代表  
2015年～独立行政法人中小企業基盤整備機構  
アドバイザー  
2016年～キャリア & ライフデザイン 開業  
2017年～近畿大学産業理工学部非常勤講師  
2022年～筑紫丘高校同窓会理事・人権擁護委員

<講演・研修・支援テーマ>  
・ライフデザイン、男女共同参画、ダイバーシティ  
推進、就職支援、ワーク・ライフ・インテグレーション、ハラスメント防止、コミュニケーション、アサーション、等

#### ■ 高校生へのメッセージ

子育てを通して様々な生活現場を体験して、世の中を動かしているのは企業や組織ばかりではなく、経済や社会は生活する人のためにあると気づかされました。育てたり、協力したり、想いあったり、身近な人や日々の生活の中に、かけがえのないことがあります。

人は一人では生きていけません。自分の人生、キャリアを主体的にデザインしていくには自分らしさと人とのつながりが大切です。久しぶりに会った同窓生や、どこかで一緒に夢中になった仲間のような細くて弱いつながりのことを「弱い紐帯(ちゅうたい)」と言います。キャリアには「偶然の出会い」や「弱い紐帯」がとても重要なのです。一生のつながりができる高校時代、仲間と一緒に夢中になってやってみる経験をしてほしいです。

#### 編集 後記

◆発行が遅れてしまいました広報紙10号ですが、広報委員2名含めバラエティに富んだ丘女達をご紹介します。次号もお楽しみに。(小川) ◆今回は発行できてほっとしています。紹介したい人、紹介してほしい人、ご意見ご感想お待ちしております。(太田) ◆今号は、縁の下の力持ち、編集委員の太田先輩と小川先輩の登場です。八面六臂のご活躍に感服するばかりです。(米澤) ◆初めて携わらせて頂き、紙面になるのはインタビューのほんの一部なのだとわかりました。すべてをご紹介できないのが残念ですが、魅力の一端をお伝えできていたらと思います。(廣田)

【制作】丘女会広報部：小川訓名(高36)、太田由美子(高32)、米澤一江(高49)、廣田由香(高42) デザイン：藤田明子(高39)